

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」白山松任校		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		2024年11月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・相談員、保護者の信頼が厚く、多くのご利用を希望されている	・支援が充実するよう、または安全に支援ができるよう、支援具の確報、環境改善案を出し合い、実現に向けて行動している	・全ての環境を整えるため、職員が安定して支援を行っていく
2	・新規の問い合わせをいただいたり、相談員から白山松任校を勧められ、問い合わせをいただくことが多い	・問い合わせいただいた際には丁寧な対応を心掛け、体験、契約へとつなげている	・受け入れ人数に制限があるが、出来る限り受け入れられるように工夫していく
3			

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・一時的に職員の体調不良等で支援を受け入れられない時があった	・業務量の調整、分散 ・人員配置	・現場の意見が反映される環境を整える ・余裕のある人員配置の実現
2	・事業所内の設備や構造上の課題	・事業所の広さ ・バリアフリー等	・事業所の広さを変えることはできないため、不用品の処分、整理整頓を心掛け、限られたスペースを有効活用する
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」白山松任校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 7

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	0	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	0	0	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	0	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」白山松任教				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室での支援やフロアにて体を動かすなど支援によって臨機応変に対応している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		関係法令に則った職員配置である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		屋内は段差のないように工夫している。	1階2階の校舎のため、外階段での行き来となっている。雨の日は滑りやすいため、指導員が付き添いながら昇降している。1階2階のやりとりはインターホンで行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝清掃と消毒・換気を行っている。支援の合間には換気を行い、感染症予防を徹底している。	トイレの手洗いが難しいお子様には、踏み台を用意するなど工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室が3室とフロアがあるため、必要に合わせて支援に使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		行事・イベントがある度、振り返りを行い改善を図っている。改善が必要なことは職員間で話し合っている。	毎月目標を立て、目標に向かいながら改善すべきことは改善を図っている。児童の支援にも工夫が必要な際には、話し合いを行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		物理的な環境(外階段)の改善が難しい所は、最善の対応を行っている。一方、支援内容や今後の支援方針など改善可能な部分は職員間で話し対応している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内で話し合いを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者評価は行われていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		連携機関である発達支援研究所の定例研修や事例検討会、地域の講演会などに参加し研鑽している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に支援プログラムを作成しており、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にモニタリングを行い、お子様の情報を共有して、お子様に合った支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童に必要な内容を選択し、支援計画を作成している。また、その上で療育プログラムを作成し、支援を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿って療育プログラムを作成し、支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人内で標準化されたツールを使用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を意識し、個別支援計画を作成し、支援を行うプログラムを作成している。		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児発管がアセスメントした基本情報シートや相談員からいただいたプランなどを参考にプログラムを作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の様子や成長・発達に合わせて活動を行っている。そのため中には固定したプログラムのお子様もいらっしゃる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者様から頂いた情報なども参考にしながら、お子様に合ったプログラムを実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前までには職員間で情報共有を図っており、前日の様子などを把握した上で支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		全体共有事項を報告し、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		会社のルールに則り、毎回の支援についての記録を残し、支援の様子を把握できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低6ヶ月に一度、定期モニタリングを行い、情報共有・支援の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主には児童発達支援管理責任者が参画している。話し合われた内容は職員に共有するように心がけている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		発達相談センターや相談員、医療機関、園、学校（就学時）等に情報提供を行いながら、児童の支援に活かしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者を通して共有することがある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者を通して共有することがある。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児発管が定期的に情報共有をし、連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		きらりひろばのチラシ配布を行っている。	園や障害のないお子様との交流の機会は殆どないが、きらりひろばや広報活動を通して「きらり」のを知っていただく機会を設けている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後毎回、支援の様子を伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			事業所内においてペアレント・トレーニングは行っていないが、必要に応じて関係機関の紹介・社会資源の情報提供を行っている。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に保護者様には児発管が伝えている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様と相談の上、支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容についてご説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて保護者面談を行い、保護者様の相談や支援の方針、ニーズをお聞きし、支援に活かしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様同士交流する機会はもてなかったが、今後そういった機会も作ってきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		指導員も保護者様からの相談を受ける機会があり、校舎内で情報共有し、話し合った内容をお伝えしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		きりりひろばのチラシやホームページへのブログの投稿を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の漏洩にならないよう、記録や個人ファイル、お子様の名前が入ってる書類等は鍵付き書庫で管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様や保護者様にとって配慮が必要な場合は、個室での対応やお電話での対応など、工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		広報活動の際、パンフレットやチラシなどを地域の店舗に置いていただいている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月校舎内に案内チラシを掲示し、防災訓練を実施している。お子様や保護者様参加型の防災訓練も実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月、訓練を行っており、年2回は児童、保護者様参加で行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		児発管がアセスメントの際に、必ずお聞きするようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事をとることはないが、アレルギーの確認はしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画についてはこういったものがあるということをご説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さいことも共有し、事故に繋がらないように注意している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		1年に1回行政主催の研修に参加し、事業所内でも研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ない場合の対応はマニュアルに明記されているが、身体拘束は行っていない。	